

広報ほくえい

HOKUEI

1

January 2025
vol.231

夢と希望を胸に新たな年へ

◎特集1

なんでもない日常にある幸せ

◎特集2

忘れられないあの記憶から今私たちにできること

生まれ育った大好きな北栄町の
美しい砂丘で、明るい未来にして
いく決意を胸に秘めて。

©犬塚健一郎

変化を豊かさに



北栄町長
手嶋 俊樹

新年明けましておめでとうございます。令和7年の新しい年を皆さまとともに迎えることができましたこと、大変うれしく思います。

昨年は、物価高騰や元日の能登半島地震、各地での自然災害さらには、闇バイトによる強盗などの凶悪事件が発生したりと、我々は不安や不便な生活を強いられた年でした。

このような年ではありましたが、町では、すいか・ながいも健康マラソン、北栄砂丘まつりなど多くの人が集う機会や観光客も確実に増えてきました。コロナ禍で自粛されていた運動会などを再開する自治会も増えてきました。

私は、令和6年度の町政を未来への投資の活きた取り組みにつなげるため、「変化を豊かさに」という言葉を進めています。道の駅ほうじょうの4月のリニューアルオープン、令和8年度の山陰道の町内一部区間の開通、令和9年の青山剛昌ふるさと館の新築移転と、北栄町が大きく変わっていきます。

今年は「巳年」です。巳年は新しい挑戦や変化に対して、前向きな姿勢を示す年ともいわれています。そして北栄町は10月に合併20周年を迎えます。町民の皆さまにも、この変化に対応し、変化をチャンスと捉えていただき、持続可能な豊かさを一緒に実感しましょう。

皆さまの引き続きのご理解とご協力を賜りますとともに、健康にご留意いただき、新しい年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶いたします。

飛躍する町



北栄町議会議長
野田 秀樹

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、異常気象や物価高騰など、私たちの生活に多くの試練がありました。しかし、北栄町はこれらの困難を乗り越え、飛躍する町として成長を続けています。今年は北栄町合併20周年の節目を迎え、これまでの歩みを振り返りつつ、さらなる発展を目指してまいります。

北条道路の整備が進みジャンクションも全貌を見せ、完成すれば交通の利便性が大幅に向上し、地域経済が活性化します。また、道の駅ほうじょうが新たな観光スポットとしてオープン間近であり、地域の魅力を発信する拠点になります。

今後は、青山剛昌ふるさと館の新築移転や中央公民館大栄分館の建て替えなどの明るい話題もあり、観光拠点や交流の場として重要な役割を果たす施設となります。

私たち議会は、視察研修で学んだことを取り入れ、各種団体との意見交換等で知り得た課題などに向き合い、町民の皆さまの声を大切に、共に歩む姿勢を忘れずに、より良い町づくりに努めてまいります。今年も皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和7年が皆さまにとって健康で幸せな一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

謹賀新年

皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます

なんでもない日常にある幸せ 今年も世界へ挑む、その素顔に迫る



写心家 大塚 健一郎

北栄町在住

受賞歴

2010年 J W P G ジャパン・ウエディング・フォト・グランプリ 全国4位
2014年 J W P G ジャパン・ウエディング・フォト・グランプリ 全国1位
2024年 国際ウエディングフォトコンペIPC2024 4年連続最優秀賞受賞
2024年 Grand Imaging Award Finalists 世界ベスト8
2024年 I V A W A R D S 国際WEDDING部門1位
2025年 Grand Imaging Award Finalists 世界ベスト6

“心”を写す

写

真で病気を治したい。
そう語るのは1人の写心家。写心家の人生や思いを通して、皆さんにこれからの1年間を前向きに過ごしていただけたらと思います。

写心家の誕生

大塚さんのカメラマン人生はウエディングフォトから始まりました。ウエディングフォトは、2人の馴れ初め、どんな色のドレスがいいか、どこで撮影したいのかなどのヒアリングから始まりますが、話を聞く度に「なぜ。」と疑問が沸いていたそうです。なぜこの人を選んだのか、なぜドレスはこの色なのか・・・その「なぜ。」に対する大塚さんの答えは、その人の“思い”だった。「そこから私が写真で写すものは、この人たちの見えない心”を写しているのだと理解している。」と語ります。心を込めて撮影し、目の前の人の心を写す。「写心家の大塚健一郎」が誕生しました。

目の前の人を幸せにして 写真で病気を治したい

「写真で幸せな笑顔の華を満開にして、写真で病気を治したい。」そう思ったきっかけは、数々の撮影活動で体験した奇跡でした。

「大好きな孫の結婚の前撮りに参加した祖父母が、孫からの手紙をもらい、手を繋いで一緒に笑顔で写真を撮った。その日から体調が良くなり、健康診断では数値が回復していた。」

「うつ状態だった母と、ウエディング姿で手を繋いで写真を撮った日から少しずつ家事や掃除に取り組み、今は笑ってくれるようになった。」・・・など。

「写真は単なる視覚的な美しさ、流行だけに留まらず人の心や身体を癒す力があると信じています。心にポジティブな感情を与え、不安な未来や病気への闘う力になるかもしれません。写真がお守り的な存在になると嬉しいです。」と夢への強い思いを語ります。

世界への挑戦から

伝えたい思い

日本だけでなく世界のフォトコンテストに挑戦し続ける大塚さん。その理由を、「撮影のスキルや地域でできること」から自分の価値を探すため。」と答えます。

大塚さんが世界への挑戦で得たことは、やればできる”ということ。「子どもたちや夢を追いかけている人に、日本一や世界一になることがすごいのではなく、日本一人口の少ない鳥取県の北栄町でも、挑戦できることを知ってほしい。今までできなかったことが少しずつできるようになる、昨日よりも今日と成長できたことを感じられる、そして誰もがなりたい自分になれるということを自分の背中で伝えたい。」と思いを語ります。



1



3

大塚さんが撮る写真が写す“心”を紹介

- 1 「初めて家族写真を撮る事が出来ました。」家族が営んできた場所で心の中にある大切な想いをカタチに出来た瞬間。
- 2 「子どもの頃の約束、覚えてる？」花嫁姿を見せる事しかできないけれど、大好きな2人に「ありがとう」ってやつと言えた瞬間。
- 3 祖父や父親のような、大きくてかっこいい4代目になると心に決めた想いをカタチにした瞬間。

あながき

エイ！ホクエイなど地域でも幅広く活動をしている大塚さん。「地域の一員として地域に貢献したい。」という言葉が印象的でした。

大塚さんの写真を観たとき、写った人の幸せいっぱい笑顔のほかに、語りかけてくるような不思議な感覚が伝わってきました。話を聞くと、大塚さんは撮影のときに相手とたくさん話をして、その人のことや気持ちを深く知るそうです。そうして、普段見せない内面が表に現れた一瞬を写し出す。

取材を進めるなかで、こちらが大塚さんに取材をされているような気にもなりました。ただ会話をするのではなく、相手のことを認め、相手を知ろうとする姿に不思議と時間の経過を忘れていました。

自分も、相手も幸せな気持ちであること”それは特別なことではなく、ほんの少し、相手に寄り添うこと。

家庭で、地域で、職場で、ほんの少し寄り添う気持ちを持ってみませんか。お互いが幸せな1年を迎えるために。



2



4



鳥取県中部地震

平成28年10月21日
14時7分

最大震度6弱

Interview



地域整備課長
中原 浩二
(中部地震当時の防災担当室長)

次の災害に備えたい

全国で毎年のように発生する地震や水害などのニュースが流れるたびに、災害はいつ、どこで起きるか分からないのだと再認識させられます。当時の防災担当だった私は、「次に被災するのは北栄町かもしれない」と心のどこかで心配して過ごしていましたが、やはりその日は来てしまいました。

町民の安否確認、被災した家屋や道路の情報把握に始まり、避難所運営や救援物資の準備、災害ゴミの受け入れなど、終わりの見えない災害対応が休みなく何

か月も続き、心身ともに疲れ果てたことが思い出されます。

地震を経験して、地域や身近なところで防災意識は以前より高まっているように感じます。

しかし、災害を経験しているからもう大丈夫という自信や、次に起きるのは当分先という根拠のない予測を持たないことが大事だと思います。来てほしくない次の災害は、明日起きるかもしれません。防災備蓄や、もしもに備えた気持ちを常に持ってほしいと願います。

令和6年1月1日、最大震度7の巨大地震が能登半島を襲いました。今もなお、避難所生活を余儀なくされる人もいながら、復興に向けた取り組みが続いています。平成28年には、過去に経験したことのない最大震度6弱の巨大地震が北栄町を襲いました。
地震はいつ、どこで発生するか分かりません。この特集では、それぞれの災害現場で活動した町職員が、そのとき何を思い、感じたのかを写真とインタビューで伝えます。そこから、自分の命を守るために、今私たちにできることは何かを考えます。

今私たちにできること

―特集②― 忘れられないあの記憶から

Interview



健康推進課 保健師
奥村 彰子
(能登派遣期間 4/26～4/30)

能登派遣で感じたこと

私が志賀町に行ったのは、震災から約4か月後。避難所生活から仮設住宅に移行される時期でした。私たち保健師チームは、仮設住宅入居者の一人一人に面談をしました。長引く避難所生活で精神的に疲弊し、多くの人が、今後の生活に不安を抱えていました。そんななか出会った90歳代の女性。「家は全壊。私がいたすぐ隣に天井が落ちてきた。でも私はケガもなく助けてもらえた。命があるだけでありがたい。」と語りました。不幸と思える状況で、「今“ある”こと」を感謝される姿に強く心を

打たれました。

震災から4か月後0人だった志賀町の災害関連死は、現在15人になっています。長期化する避難所生活や生活環境の変化は、健康状態に大きな影響を及ぼします。

だからこそ、今私たちにできること。それは、自分自身の心と体の健康を保つことです。「バランスのよい食事・適度な運動・質のよい睡眠・自分の心を大切に。」まず自分の気持ちを満たし、大切な人を大切に。この積み重ねが、災害時に支え合える絆になると思っています。



能登半島地震

令和6年1月1日
16時10分

最大震度7



1 感震ブレーカー助成

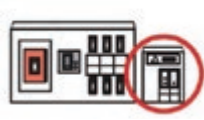
地震による建物火災の半数以上の原因が、電気機器からの出火や停電復旧後の通電で発生する「電気火災」です。防止対策に有効なのが、揺れを感知した際に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」。さまざまなタイプがあるので、家庭にあったものを設置しましょう。

電気火災の例

- ・家具の転倒により電気コードが損傷し、停電が復旧したことによりショートして着火
- ・白熱灯などが転落・落下し、可燃物に着火
- ・転倒・落下した可燃物が電気ストーブなどの電熱器具に接触し着火

- 補助率 2／3
- 補助金上限 14,000円（電気工事をする場合は40,000円）
- 要件
 - ▷分電盤タイプ：一般社団法人日本配線システム工業会の感震機能付住宅用分電盤(J W D S 0007付2)の規定に定める構造及び機能を有するもの
 - ▷コンセントタイプまたは簡易タイプ：一般財団法人日本消防設備安全センターによる消防防災製品等推奨証の交付を受けているもの

●感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ (内蔵型)  価格：5万～8万円 電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。 電気工が必要 工事費：約2～3万円	分電盤タイプ (後付型)  価格：約2万円 分電盤に感震機能を外付けするタイプ。センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。 電気工が必要 工事費：約1万円
コンセントタイプ  価格：5千～2万円 コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。 電気工が不要 ※埋込型は必要 工事費：約8千円	簡易タイプ  価格：約2千～4千円 ばねの作動や重りの落下などにより、ブレーカーを切って電気を遮断する。 電気工が不要 工事費不要

●申請・問い合わせ 総務課 ☎37-5862

2 耐震診断

- 無料または補助対象となる住宅
 - 北栄町内にある次の要件すべてに該当するもの
 - ▷木造の一戸建ての住宅または併用住宅（店舗の部分が延べ床面積の2分の1未満であるもの）
 - ▷平成12年5月31日以前に建築工事に着工されたもの
 - ▷延べ床面積が280㎡未満で、階数が2以下のもの
 - ※280㎡以上は有料耐震診断の補助をご利用できます。ご相談ください。
 - ▷木造在来軸組工法・伝統的工芸・枠組壁工法で建築されたもの（プレハブ工法や丸太組工法のもの対象外）
 - ▷現に居住の用に供しているもの

- 耐震診断を行う技術者と診断方法
 - 町が業務委託した民間建築団体などに所属する設計事務所から建築士が選定され、派遣されます。診断方法は、住宅の壁などをはがすことなく目視により外部（敷地、床下、天井裏）を調査し、住宅の耐震性能を診断する「一般診断法」です。
- 診断費用
 - 無料です。ただし耐震診断以外の費用は個人負担になります。
- 申請・問い合わせ 地域整備課 ☎37-3117



自分や家族の命を守るための

備え

普段からできること

《家具などの転倒防止対策》

タンスや食器棚などが倒れたり、動いたりしないように固定しておきましょう。
家具の上に重たいものを置かないようにしましょう。



《非常用品の備え》

地震直後は救援物資が届かないので、食料や水など生活必需品を蓄えておきましょう。
避難するときのために、非常用持ち出し袋を準備しておきましょう。



《家の中での安全な場所の確保》

室内にものが倒れたり、落ちてきたりしない安全な場所を作っておきましょう。

《家族での話し合い》

地震があったときの連絡手段や避難場所などについて、家庭で話し合っておきましょう。
災害伝言ダイヤル（171）はメッセージを録音しておくことができます。毎月1日と15日は体験利用ができますので、一度試してみましょう。

《火災対策》

寝室などへの火災報知器は消防法で設置が義務付けられています。電池切れなどしていないか定期的にチェックしましょう。

《けがの防止対策》

停電になったときのために、懐中電灯をすぐに使える場所に置いておきましょう。
割れたガラスなどでけがをしないように、スリッパを身近に準備しておきましょう。



《脱出口の確保》

揺れが大きいと、ドアや窓が変形して開かなくなる可能性があります。揺れの合間をみて安全を確保しながらドアや窓を開けて閉じ込められないようにしましょう。



次々と出される意見に対し答える町長

**女性の声を町政に
女性と町長と語る会を開催**

12月2日、女性団体連絡協議会主催で女性と町長と語る会が開催されました。9団体から「災害時のトイレの準備について」や「道の駅「ほうじょう」の目玉について」など、女性目線の意見や要望も交えながら意見交換を行いました。

会長の磯江華葉さんは、「女性が議員になって政治に参加するのはいまだにハードルが高い状況のなか、女性の声を直接町長へ届けることができる機会を持って、大変有意義な会だったと思います。また、この機会があることで、日頃から町政に関心を持つようになってきたと実感しています。」と感想を語りました。



活発な議論が交わされる議場

**議員定数
15人→13人に**

12月17日、議会本会議で議員定数を現在の15人から14人に変更する条例の議員提案がありました。記名投票の結果、賛成6人、反対8人で否決されました。そのあと、定数を13人に変更する条例案が提案され、記名投票の結果、賛成7人、反対7人の同数となり、議長が「2年間の調査特別委員会の議論は重い。」と、採決により可決しました。

10月の議会議員選挙から13人の定員になります。



平井知事と町長が記念品を配布

**コナンファンと地元の念願が叶う
スーパードライはくと号が由良駅へ**

12月1日、「スーパードライはくと号由良駅（コナン駅）特別乗車プラン」が実施されました。スーパードライはくと号が乗客を乗せてコナン駅（JR由良駅）へ入線するのは初めてのことで、ホームでは「北栄町へようこそ」という横断幕を掲げ、平井知事や手嶋町長、山柘観光協会長ら関係者が乗客を出迎えました。ツアー参加者38人に、知事と町長が記念品を配布しました。

この日の車両は「スーパードライはくと名探偵コナン号」で、富山県から参加した夫婦は、「今朝6時30分に富山県を出



スーパードライはくと号をお出迎え

©青山剛昌／小学館

発して参加した。初めての北栄町でも楽しみにしていた。こんなにたくさんの方のキャラクターに出会えてうれしい。」と疲れも見せず駅前のオブジェと一緒に写真撮影するなど、大変喜んでおられました。

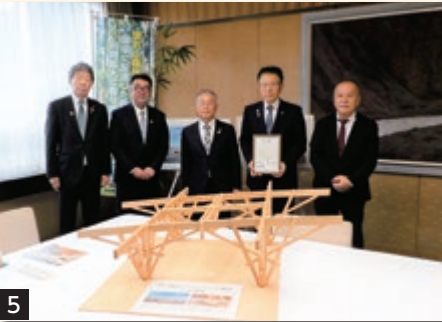
ツアー参加者は、車両と駅とのコラボ撮影を楽しんだ後、バスに乗り換え、青山剛昌ふるさと館やコナンの家米花商店街を訪れるなど、晴天に恵まれたコナン通りでの散策を楽しみました。

令和6年 主要ニュース

- 1月
3日 成人式（二十歳のつどい）を開催
3日 青山剛昌先生と話そうDAYを開催
7日 出初め式を開催
23日 今年も雪が。農業被害も。 (写真1)
- 2月
25日 スポーツ表彰 今年215人
- 3月
20日 脱炭素ロードブックを作成 (写真2)
27日 強風により大誠体育館屋根の一部が壊れる
31日 道の駅ほうじょうバーベキュー棟完成 (写真3)
- 5月
23日 六尾北団地、町営住宅を用途廃止
29日 埼玉県横瀬町と連携協定を締結
- 6月
1日 中央公民館、図書館などをクーリングシエルトに指定
16日 第37回すいか・ながいも健康マラソンを開催
29日 E！FESに1,600人が盛り上がる (写真4)
- 7月
13日 第18回ほくえい公民館まつりを開催
- 8月
25日 ふれあい芸能発表会を開催
29日 青少年訪問団が台湾台中市大肚区を訪問
- 9月
1日 道の駅「ほうじょう」が、県内初のSGEC森林認証を取得 (写真5)
8日 総合防災訓練を開催
28日 道防ほくえい介護予防フェスタ2024を開催
- 10月
14日 巨大迷路 借しまれながら12年の歴史に幕
20日 ねりんピックはばたけ鳥取2024ソフトテニス交流大会を開催 (写真6)
26日 まちの環境健康診断inわいわいフェスタを開催
- 11月
3日 第7回北条ふるさとまつりを開催
23日 北条中学校開校30周年イベントが開催
26日 大栄小学校創立50周年イベントが開催
- 12月
1日 スーパードライはくとが初めてコナン駅へ延伸
7日 じんけんフェスティバルを開催
15日 ほくらボ最終発表会を開催



6



5



4



3



2



1



上_数か月にわたる研究の成果を発表する研究員
下_審査員の講評を熱心に聞く参加者

北栄町の未来へつながる提案をー 研究に研究を積み重ねた成果を発表

12月15日、大栄農村環境改善センターで、ほくえい未来ラボ最終発表を開催しました。4回目となる今回は、「地域と観光〴〵住んでよし訪ねてよしのまちづくりに向けて～」をテーマに、研究員（町民研究員、鳥取短期大学の学生研究員）が10チームに分かれて調査研究を行い、町の課題を解決するためのアイデアを発表しました。

審査の結果、町長賞には「観光客と連携した若者の活躍と地域資源の掘り起こし」「食を活かす参加型町おこし」をテーマに発表した2チームが、審査員賞には「バンブーファイトツアー」「1棟貸し空き家リノベゲストハウス」「推し活宿泊施設」「フルーツ狩りGO!GO!GO!」をテーマに発表した4チームが選ばれました。

参加者は、「ここまでまとめるのは大変だったけど、みんなで楽しくできた。今後提案した内容がどのように町の施策に活かされるのか楽しみです。」と感想を語りました。審査員からは、「調査実践に基づいた、わくわくする提案がたくさんありました。実現できたらまちづくりの起爆剤になること間違いなし、と思いました。」

10チームの提案について今後検討し、施策化していく予定です。



感謝状を手にする山根さん

更生保護女性会の山根ひろ子さんに 法務大臣感謝状

11月8日、鳥取県更生保護大会で鳥取県更生保護女性連盟会長の山根ひろ子さん（大野）に法務大臣感謝状が伝達されました。

これは、長年にわたり取り組まれた更生保護活動の顕著な功績が認められたものです。

山根さんは「安心安全な地域社会づくりのために〴〵ほっとけない精神〴〵でぬくもりのある更生保護活動を今後も続けてまいります。」と話しました。



受章報告された宮本さん



受章報告された松岡さん

秋の叙勲で 宮本幸美さんと松岡敏雄さんが受章

宮本幸美さん（84歳・国坂浜・旭日双光章）、松岡敏雄さん（76歳・国坂中・旭日単光章）が、町長に受章のご報告をされました。

宮本さんは、平成6年から令和3年までの27年間、町議会議員として農業振興などに尽力されました。松岡さんは、平成10年1月の国坂中団地自治会の発足から現在まで、自治会長として自治会の発展、運営などに尽力されました。

宮本さんは、「旧町で3期、北栄町で4期皆さんにご支援、ご支持いただき受章できました。町民の皆さんに心から感謝いたします。」松岡さんは、「わたし一人だけでなく自治会の皆さんの協力のおかげで受章できたものです。皆さんに心から感謝いたします。」と感謝を述べました。



地域とともに成長した30年を祝う 感謝と成長の記念イベント

11月23日、北条中開校30周年記念フェスティバルが開催されました。eスポーツ大会やカラオケ大会、お化け屋敷やメイドカフェなど生徒中心に企画・運営され、在校生だけではなく地域の人や卒業生などたくさんの方がこの日を祝いました。生徒は、「たくさんの方が来ていてびっくりしました。学校で色んなことができてすごく楽しかったです。」と感想を語りました。



1 eスポーツ、優勝者は誰だ？
2 私たちが、ステージイベントを盛り上げます！
3 美味しくなあれ、萌え萌えキョウ♡



子どもたちの成長と思い出が詰まった 笑顔と共に祝った記念イベント

11月26日、大栄小創立50周年記念式典が開催されました。式典では、過去50年に関するクイズコーナーや全校合唱などが行われました。翌日には記念イベントも開催され、紙飛行機飛ばしや全校児童で校舎に隠れたメッセージを探す文字探しなど、地域の人と一緒に50年を祝いました。児童は、「大栄小の歴史が知れたので、これからもその歴史をつないでいきたい」と感想を語りました。



1 クイズコーナーで大盛り上がり
2 思いを一つにして歌った全校合唱「それいけー」と自分で作った紙飛行機を飛ばす
3

会計年度任用職員を募集します

町の会計年度任用職員を募集します。募集要項、申込書などは、総務課または北条支所にあります。町ホームページからもダウンロードできます。

●募集資格

令和7年4月1日から勤務できる人 パソコンの基本操作ができる人 年齢、性別は問いません。

●締切 2月3日(月)

●採用試験

2月15日(土)

大栄農村環境改善センター

募集職種など詳細はこちらから確認できます。▼



●問い合わせ

総務課 ☎ 37-5861

トイレに、水で分解されないものを流さないで

水で分解されないもの(ウェットシート、紙おむつ、タオル、下着、生理・衛生用品など)をトイレに流すと、家庭内のトイレや排水管が詰まり、修理が必要となる場合があります。

また、下水道管内にある汚水ポンプを詰まらせ、ポンプの故障や汚水があふれる原因となります。



ポンプに詰まっていた不織布(11月)

で、決して流さないようお願いします。

トイレに流せるものについては基準があるのは、トイレットベーパーのみです。(日本産業規格「JIS P4501」)
「トイレに流せる」と記載されたものをトイレに流す際は、水中で細かく分解されるものかどうか確認できたものを流すようにしてください。

●問い合わせ

地域整備課 ☎ 37-3119

介護予防のプロを派遣します

集いの場がより楽しく活気あふれるものになるよう、介護予防のプロである「専門職」を地域(自治会やサークル)に派遣します。

※「専門職」とは…理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・管理栄養士など

●応募方法

申請書は町ホームページからダウンロードできます。記入後、大栄庁舎にご持参ください。

詳細はこちらから確認できます。▼



●問い合わせ

福祉課 ☎ 37-5850



「一株植樹」運動に参加しませんか

毎年春に実施する緑化推進運動で、緑化用苗木を提供しています。緑豊かな郷土とするために、緑を育ててみませんか。

●《苗木の申込》

●方法

申込書及び代金を産業振興課にご持参ください。

●期間

1月14日(火)～2月7日(金)

※申込書は産業振興課または北条支所総合窓口にあります。

●《苗木の引渡し日》

●日時

3月11日(火)14時～15時

●場所

大栄農村環境改善センター

●申込・問い合わせ

産業振興課 ☎ 37-3152

町有地を売却します

今回売却する町有地は旧町営六尾北団地の2物件で、木造2階建(築30年)の建物(駐車場付き)です。

物件	所在地	敷地面積	建築面積	売却価格
1	六尾1600-8	216.56㎡	55.77㎡	2,057,320円
2	六尾354-20	188.92㎡	54.87㎡	1,794,740円

●受付期限 1月24日(金)

●申込資格 自己居住用として使用する個人(法人は不可)

●その他

▷申込多数の場合は抽選により購入者及び購入対象物件を決定します。(2月5日(水)に抽選予定)

▷購入資金の準備に時間要する場合などについては、事前にご相談ください。



(写真:六尾1600-8)

建物内部見学会

1月8日(水)15:00～

1月21日(火)10:00～

申込方法や売却条件などの詳細はこちらから確認できます。▶



●問い合わせ 環境エネルギー課 ☎ 37-3116

申告期限 1/31(金)です
事業者の皆さんは必ず申告を！一償却資産(固定資産税)

毎年1月1日に、町内に償却資産(事業用資産)を所有し、個人や会社などで工場や商店の経営、駐車場やアパートの貸付、農業などの事業を行っている人は、1月31日までに償却資産の内容を町へ申告する必要があります。

※詳細は町ホームページ、または町民課にお問い合わせください。

償却資産の申告はeLTAXにより電子申告で提出することができます。

※詳細はeLTAXホームページをご覧ください。

《申告が必要な償却資産》

▷町内にお持ちの事業用資産で、減価償却額または減価償却費が、損金または必要な経費に算入されるもの

▷福利厚生用に供するもの

建設仮勘定で経理されている資産、簿外資産であっても、事業に使用できる状態のもの

▷遊休または未稼働の償却資産であっても、事業に使用できる状態のもの

▷建築設備・造作のうち、償却資産として取り扱う

もの

▷現在事業で使用しているもの

▷個別償却をしているもの

▷中小企業者の少額資産の特例の規定を適用して損金算入した資産

▷改良費

《申告の対象とならない資産》

▷自動車税、軽自動車税の課税対象となるもの

▷無形固定資産

▷時の経過により価値が減少しない資産

▷耐用年数1年未満または取得価格10万円未満の償却資産で一時に損金算入したもの

▷取得価格が20万円未満の償却資産で3年間の一括償却を選択したもの

▷ファイナンス・リース取引に係るリース資産で、取得価格が20万円未満のもの

eLTAXホームページはこちらから確認できます。▶



●問い合わせ 町民課 ☎ 37-5865

予約時の注意事項（必ずお読みいただいたうえで予約してください・）

- ・予約は申告書1件につき1枠です。家族分を複数申告する場合は、その人数分の予約をしてください。
- ・予約が殺到し、電話が繋がりにくくなることが予想されます。繋がらない場合は時間を置いてかけ直してください。
- ・受付時間を過ぎると電話予約はできません。
- ・申告最終日（3月17日）は予約受付を行いません。ご注意ください。
- ・当日の整理券配布はありません。事前予約されずに来場された場合は、翌日以降の予約を取っていただいたうえで再度来場していただきます。

次の申告は町の会場で受けることができません。 ※税務署またはe-Taxで申告してください

- ・事業所得等の青色申告
- ・消費税申告
- ・住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）を受ける場合（1年目）

受付期間と申告会場

期 間 ※いずれも土日祝除く	会 場	時 間
2月17日(月)～2月28日(金)	北条健康福祉センター	【午前の部】 9:00～12:00
3月3日(月)～3月17日(月)	大栄農村環境改善センター ----- 北条支所総合窓口 (1席)	【午後の部】 13:00～16:00 ※2月28日(金)は午前の部のみ
2月17日(月)～3月17日(月)	倉吉税務署 1階大会議室	
3月2日(日) ※閉庁日対応	鳥取税務署	
1月上旬～3月17日(月)	e-Tax (確定申告書等作成コーナー)	 土日や夜間、24時間申告できます。

お詫び 町報12月号でお知らせした大栄会場の申告受付期間に誤りがありましたので訂正してお知らせします。
(誤) 3月3日(月)～3月14日(金) ⇒ (正) 3月3日(月)～3月17日(月)

お知らせ

■「収支内訳書」「医療費控除の明細書」は、必ず作成してから申告へ

農業所得や営業所得を申告する人は「収支内訳書」、医療費控除を受ける人は「医療費控除の明細書」の作成が必要です。1～12月分の領収書などを内訳ごとに整理しましょう。

■「ふるさと納税ワンストップ特例」を申請した人へ

寄附先が5自治体を超えている場合は特例適用できませんので、確定申告が必要です。また、特例申請した人が確定申告を行う場合は、申告が優先されて特例適用がなくなります。寄附金受領証明書を添付して、ふるさと納税を申告する必要がありますので、ご注意ください。

■令和6年中に住宅を新築・増改築した人向け個別相談会を行います

住宅借入金等特別税額控除（住宅ローン控除）を検討されている人を対象に、倉吉税務署で相談会を開催します。事前予約が必要ですので、1月上旬に郵送する案内をご確認のうえ、お申し込みください。

申告相談はインターネットか電話で事前予約が必要です

●問い合わせ 町民課 ☎37-5865

令和6年分から確定申告の来場予約を始めます。なお、予約されていない人は会場にお越しいただいても申告相談を受けることができませんのでご注意ください。

予約方法（北条会場・大栄会場）

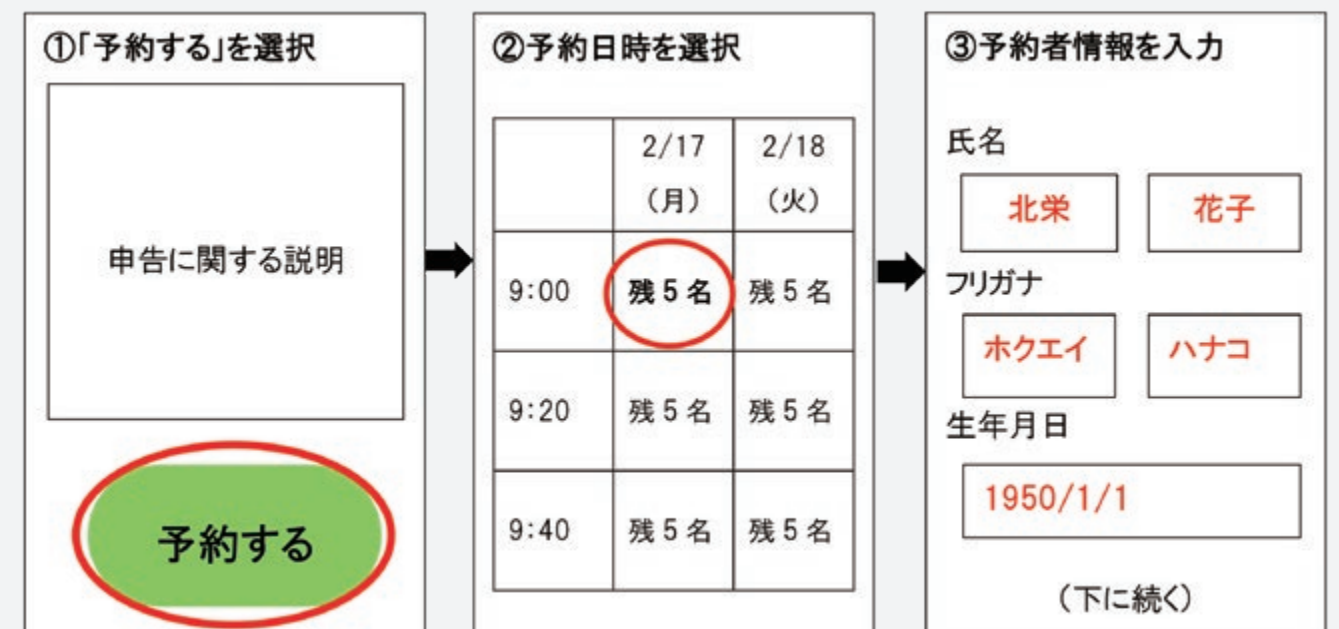
■インターネット予約

受付期間：2月1日(土)～予約希望日時の24時間前まで



2/1からご覧いただけます

- ①こちらから予約システムを開き、「予約する」を選択▶
②希望日、希望時間帯を選択（20分単位）
③申告を受ける人の情報（氏名、生年月日、住所、メールアドレス）を入力
④情報入力後「登録する」を選択し、予約完了
⑤予約完了メールが届くので、当日、予約完了メールの画像または画面を印刷した紙を受付で提示



■電話予約 町民課へ電話 (☎37-5865)

受付期間：各会場予約開始日（※）～予約希望日時の**1日前**まで（土日祝除く）

※各会場の予約開始日等

会場	予約開始日	受付時間
北条会場	2月3日(月)	平日9：00～17：00
大栄会場	2月10日(月)*	

*2月10日以降は北条・大栄両会場の予約ができます。

【予約時の必要事項】

- ・氏名 ・住所 ・連絡先 ・生年月日
・申告を希望する日時 ・希望する会場

予約フォームの入力方法など、予約に関する詳しい情報は町ホームページに掲載しています。▶



ほけん

みんなでインフルエンザ&新型コロナを防ごう

インフルエンザも新型コロナも予防の基本は同じです。

咳やくしゃみから飛び散ったウイルスを吸い込む「飛沫（ひまつ）感染」や、手に付いたウイルスが鼻や口を通して体内に入る「接触感染」を防ぐことがポイントです。

また、症状があった場合は早めに医療機関を受診しましょう。

※こども、高齢者は重症化することがあるので特に注意が必要です。

⇒早めのワクチン接種もご検討ください！

接種については、事前にかかりつけ医などの医療機関へ相談しましょう。



咳エチケットのポイント

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。咳エチケットを心がけましょう。

- ・マスクを着用します。
- ・ティッシュなどで鼻と口を覆います。
- ・とっさの時は袖や上着の内側で覆います。



昭和37年度～昭和53年度生まれの男性の皆さんへ

風しんの抗体検査と予防接種を受けましょう！

風しんは、成人がかかると症状が重くなることがあります。また、妊娠初期の妊婦さんに感染させてしまうと、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓に障害が起きることがあります。

昭和37年度～昭和53年度生まれの男性の皆さんは、過去に公的に予防接種が行われていないため、自分が風しんにかかり、家族や周囲の人たちに広げてしまうおそれがあります。

あなた自身と、これから生まれてくる世代の子どもを守るために、風しん抗体検査と予防接種をお受けください。

《風しんの定期接種を行っています。》

●実施期間 3月31日まで

●対象 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性

●クーポン券

対象者には無料クーポン券を送付しています。利用期限が切れているものでも、実施期間内であれば利用可能です。

健康推進課 ☎37-5867

かんきょう

「もったいない」を「ありがとう」に！～とっとりフードドライブ～

フードドライブとは家庭で余っている食品を、必要としている団体や施設に寄付する活動です。日本ではまだ食べられる食品を1日一人あたり毎日おにぎり1個分と同じ量を捨てているといわれています。

10月には56品目約10kgの食品が寄付され、すべて町内で生活支援などに活用されました。

1月に2回目のフードドライブを実施します。寄付された食品は町内で必要とされている団体に届けますので、ご協力よろしくお願いします。

●募集期間 1月20日(月)～31日(金)

●寄付していただきたい食品

賞味期限が2ヶ月以上ある未開封の食品、調味料(アルコール類は不可)

●受付 環境エネルギー課、北条支所

詳細はこちらから確認できます。▶



環境エネルギー課 ☎37-3116

12月2日から健康保険証の新規発行が廃止され、マイナ保険証を基本とする仕組みになりました。

マイナ保険証をお持ちでない人も、加入する医療保険者から送付される『資格確認書』で今まで通り保険診療を受けられます。

●問い合わせ
健康推進課 ☎37-5867

詳細はこちらから確認できます。▼



有効期限が切れる場合でも、必要な人には資格確認書が付されます。

マイナ保険証をお持ちでなくても、これまでどおり受診できます。



●日時
1月5日(日)9時30分から
●場所
出会いの広場(運転免許試験場跡地)
●問い合わせ
総務課 ☎37-5862



過去の出初め式の様子

令和7年北条町消防出初め式を開催します

年末年始の業務

公共機関などのお休み	12月					1月				
	27日(金)	28日(土)	29日(日)	30日(月)	31日(火)	1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
役場(大栄庁舎・北条支所)						休				
中央公民館(北条・大栄)					休					
図書館(北条・大栄)					休					
B & G 海洋センター					休					
ほくほくプラザ					休					
リサイクルステーション(北条・大栄)					休					

休日急患診療		12月					1月				
		27日(金)	28日(土)	29日(日)	30日(月)	31日(火)	1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
中部休日救急診療所(内科・小児科)		休			休		休			休	
県立厚生病院	外来						休				
	一般救急										
	小児救急										
口腔衛生センター(歯科)			休		休					休	

図書館へ
行こう

蔵書点検のため休館します

ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

本館：1月21日(火)～26日(日)
北条分室：1月30日(木)～2月6日(木)

※休館中もブックポストへの返却やインターネットで本の予約ができます。

1月の特集展示



◀【薦屋重三郎とその時代】

- 期間 1月4日(土)～
- 場所 本館

【おむすびの日特集】▶

- 期間 1月4日(土)～
- 場所 分室



あたまイキイキ音読教室

- 日時 1月16日(木)
10:30～11:30
- 場所 本館 2階 研修室
絵本や古文、詩など様々な題材を参加者の皆さんと読みます。



北栄町図書館

☎37-5515 FAX37-5514
北条分室 ☎36-3219 FAX36-5562
開館時間／9:30～18:30
(1月1日(水)～1月3日(金)、30日(木)、毎週月曜日、蔵書点検期間は休館日)

※詳細は、館内ポスター、ホームページをご覧ください。▶



おなかの赤ちゃんへ絵本のプレゼント

マタニティ・ファーストブックとして妊娠中のママとおなかの赤ちゃんへ絵本をプレゼントしています。

今年度のプレゼント絵本は次のとおりです。

【プレゼント絵本】

- ・『だるまさんが』 かがくいひろし/さく
- ・『あっぷっぷ』 中川ひろたか/文、村上康成/絵
- ・『はらぺこあおむし (ボードブック)』 エリック・カール/さく、もりひさし/やく
- ・本館キッズコーナーにある絵本

から1冊

おなかの赤ちゃんへ届けたいお気に入りの1冊を見つけてください！

マタニティ・ファーストブック詳細はこちらからご確認ください。▶



◀キッズコーナー(本館)

新着案内

新着案内(新しく入った本)とおすすめ絵本リレーは、こちらを読み込んでご覧ください。▶



おはなし会

- 日時・場所 毎週日曜日10:30～／本館
15日(水)／子育て支援センター

みんなでLet's Sports生涯健康！

北栄町バレーボール大会結果

11月24日、大栄体育館などで開催しました。

■フリー(大栄中会場)

優勝 大野
第2位 さつきヶ丘団地

■フリー(大栄体育館会場)

優勝 西園
第2位 土下

■女子

優勝 下種
第2位 由良宿3区



初優勝を果たした大野の皆さん



初優勝を果たした下種の皆さん

北栄町バドミントン大会結果

12月8日、北条中体育館で開催し、24チームが参加しました。

■A級優勝 中央団地

■B級優勝 六尾A



A級で優勝を果たした中央団地の皆さん

公民館へようこそ ～つどう・まなぶ・つなぐ～

北栄文芸第77号近日発刊！

- ▷発刊予定日 1月16日(木)
1冊200円で販売します。
- ▷申請 中央公民館・大栄分館

★中央公民館(土下112)主催事業

- ロビー展示
- ▷期間・内容
- ①1月6日(月)～15日(水)
北条中美術作品展
- ②1月16日(木)～30日(木)
北条小美術作品展

《今月の北栄町シニアクラブ》
～まなび・よろこび・仲間とともに～
※クラブ会員を随時募集しています

●総合学習

- ▷日時 1月14日(火)14:00～16:00
- ▷場所 大栄分館
- ▷内容 健康講座「介護予防と脳の健康チェック」

●コース別学習

- ▷日時 1月27日(月)14:00～16:00
- ▷場所 中央公民館・北条農村環境改善センター
- ▷内容 パソコン、ニュースポーツ、歌唱、習字、フラ、絵てがみ、食を楽しむ、絵画の8コース

問い合わせ：中央公民館 ☎36-2062 FAX 36-5562

★中央公民館大栄分館(由良宿800)主催事業

●小筆教室

- ▷日時 1月7日(火)、21日(火)
9:30～11:30
- ▷内容 毛筆で小さい字をかきます
- ▷講師 道祖尾 良苑さん ▷料金 300円(お茶付)

●切絵教室

- ▷日時 1月10日(金)、24日(金)
13:30～15:30
- ▷講師 寺地 千代子さん、長柄 敏子さん
- ▷料金 300円(お茶付)

●パソコンカフェ

- ▷日時 1月27日(月)13:30～15:30
- ▷内容 初歩のパソコン・スマホ教室
- ▷講師 福田 愛治さんほか
- ▷料金 300円(お茶付) ▷定員 10人程度(要予約)

●ペン習字教室

- ▷日時 1月14日(火)9:30～11:00
- ▷講師 道祖尾 良苑さん ▷料金 300円(お茶付)

●ロビー展示

- ▷期間・内容
- ①1月5日(日)～14日(火)
新春書初展
- ②1月17日(金)～30日(木)
手づくり教室作品展

問い合わせ：中央公民館大栄分館 ☎37-2137 FAX 37-3393

1月のカレンダー

●行政相談会

日時・場所 9日(木) 社会福祉センター
16日(木) 北条支所
時間はいずれも13:00~15:00
問い合わせ 社会福祉協議会 ☎37-4522

●人権相談所

日時 23日(木)13:00~15:00
場所 社会福祉センター
問い合わせ 社会福祉協議会 ☎37-4522

●よろず相談所

日時 30日(木)13:00~15:00
場所 北条支所
問い合わせ 社会福祉協議会 ☎37-4522
●ハローワーク倉吉出張相談所(予約制)
日時・場所 16日(木)中央公民館
30日(木)大栄庁舎
時間はいずれも13:30~16:00
利用時間 1人30分
予約・問い合わせ 福祉課 ☎37-5852

●農家相談

農地などの困りごとについて農業委員が相談をお受けします。
日時 21日(火)13:30~15:00
場所 大栄庁舎
問い合わせ 農業委員会事務局 ☎37-3135

●認知症の人と家族の集い

日時 21日(火)10:00~11:30
場所 北栄なう(由良駅前交差点北側)
問い合わせ 地域包括支援センター ☎37-5850

●オレンジカフェ「なう」

日時 17日(金)13:30~15:30
場所 北栄なう
※送迎あります(送迎の申込は開催日前週木曜日まで)
料金 200円(飲物代)
予約・問い合わせ 地域包括支援センター ☎37-5850

●マイナンバーカード時間外窓口

日時 1月16日(木)17:00~19:30
場所 大栄庁舎
予約 1月15日(水)までに予約してください。
※予約の受付状況によってはご希望に沿えないことがあります。
※次回の時間外交付は2月13日(木)の予定です。
問い合わせ 町民課 ☎37-3115

●子育てカレンダー

1月のカレンダーはこちらから確認できます▼
問い合わせ 教育総務課
子育て世代包括支援センター ☎37-3224
子育て支援センターすまいる ☎37-2124

お知らせ

2025年農林業センサスを実施します

この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される大切な調査です。

1月下旬から農林業を営んでいる皆さんのところに調査員が訪問して、調査票をお渡ししますので、ご協力をお願いします。

詳細はこちらから確認できます。▼



●問い合わせ

2025年農林業センサス
コールセンター
☎0570-06-6029
(ナビダイヤル)



JR山陰本線 集中保守工事実施に伴う列車の運休及び代行輸送について

夜間時間帯に集中的に保守工事を実施します。

工事に伴い、一部列車の運休が発生しますが、代行輸送を実施します。

●期間

①1月6日(月)~12日(日)
②1月13日(月)~2月2日(日)、2月10日(月)~3月13日(木)

●対象区間

①山陰本線 鳥取~倉吉間
②山陰本線 倉吉~米子間

【運休列車】

①(上り) 倉吉 22時44分発
鳥取 23時28分着
(下り) 鳥取 22時48分発
倉吉 23時42分着
②(上り) 米子 21時40分発
倉吉 22時43分着
(上り) 米子 22時40分発
倉吉 23時53分着
(下り) 倉吉 21時22分発
米子 22時35分着
(下り) 倉吉 22時19分発
米子 23時38分着

詳細はこちらから確認できます。▼



●問い合わせ

JR西日本お客様センター
☎0570-00-2486

1月10日は「110番の日」

「110番」は事件・事故が発生し、警察官に一刻も早く助けに来てほしい場合の「緊急専用電話」です。悩みや心配、困りごとなど、緊急ではないものは警察総合相談電話(☎9110)をご利用いただくか、倉吉警察署にご相談ください。

●問い合わせ

倉吉警察署 ☎26-7110

香港グループ旅行支援金

米子鬼太郎空港発着の香港直行便就航記念として利用を支援します。

●条件

鳥取中部在住者(ただし5人以上) 渡航日の7営業日前までに申請

●対象便

米子鬼太郎空港発着「香港便」

●支援額 5,000円/人
※20人以上の団体には追加支援金50,000円が加算されます。

●受付開始

●対象

12月2日(月)から先着順
12月17日(火)出発便から申請先など詳細はこちらから確認できます。▼



●問い合わせ

(社)鳥取中部観光推進機構
☎24-5024

催し

北方領土返還要求運動
鳥取県民大会を開催

●日時

2月2日(日)

13時30分~15時30分

●会場

とりぎん文化会館

●内容

神戸学院大学教授 岡部芳彦氏による講演など

●その他

北方領土隣接地域の特産品をもれなくプレゼント。北海道の豪華海産物が当たる大抽選会も開催。

●申込方法

電話またはホームページからお申し込みください。
☎0857-26-7170

申請先など詳細はこちらから確認できます。▼



●問い合わせ

北方領土返還要求運動鳥取県民会議事務局
☎0857-26-7170

県立美術館 開館まであと約90日!

あと3か月!

鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

注目の情報 公式サイトで詳細をチェック!(右記二次元コード)

- ◆ 開館直前イベント in イオンモール日吉津
1月13日ワークショップ盛りだくさんイベントを開催。テレビ・ライブで活躍する「明和電機」がゲストに決定!
- ◆ ちびっこワークショップ in 県立美術館 開催
1月26日は開館直前美術館でアートと仕事にふれよう!!

2025年3月30日 開館!



鳥取県立美術館
公式サイト

倉吉市駄経寺町2-3-12(倉吉パークスクエア東側)
鳥取県地域社会振興部美術館 ☎(0858)47-3011

ピアノお売り下さい!!
買取査定 無料
ご依頼は地元で安心のヤマハ正規特約店にご用命ください。
YAMAHA
トミヤ楽器店 ☎0120-50-5103
〒682-0881 倉吉市宮川町185-24

「管理が大変」を解決します
遊休地募集
300坪以上の太陽光発電用地を求めています。
株式会社 エナテックス (0858)36-3633
北栄町田井651-1

輝く地元のちから

町で輝く企業や人を紹介

バスケットボールクラブ「PHENOM（フェノム）」

梶本 翔稀 さん
（北条中2年）



感謝の気持ちを忘れず
もっと上へ挑戦したい

北条町のバスケットボールクラブ「PHENOM」が、11月に開催された「第3回鳥取県U15バスケットボール選手権新人大会」で見事準優勝に輝き、広島県で開催される全関西バスケットボール交歓大会（以下全関西）への出場を決めました。

キャプテンをしている梶本さんは、「苦しい試合が続いたが、誰一人諦めることなく最後まで粘り強く頑張れたと思う。練習で積み重ねてきたことがこうして結果に結びついてよかった。」と達成感をにじませながら話しました。決勝戦をかけた大事な一戦では、強豪の中学校を相手に終盤で追いつき、一点差で逆転勝利しました。「勝利が決まった時は、みんなで飛び跳ねて喜びました。苦しい時間帯でもお互い助け合ったチームメイト、観客席で大声で応援してくれた保護者に感謝したい。」と感謝の気持ちを付け加えます。

次の全関西に向けて、「全国レベルの強豪チームと試合できるので一戦一戦全力で挑戦していきたい。」と意気込みを語りました。

行政情報のほか観光や子育てなど情報満載

町ホームページ



Instagram



Facebook



X

